

ゴ ク ロー サン  
**5 9 6 3** **ハート通信**

VOL. 37

**竹原運輸株式会社**

発行日 平成 22 年 9 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

「イノベーション（経営革新）は社員全員です」

最近流行のイノベーションですが、トップや幹部だけがイノベーションを掲げても、どうもうまくいかないらしいです。大事なことは現場にいる社員全員がイノベーションを理解し、毎日の行動に結びつけることだと。

つまり現場の社員が主体性を持ち、自立し、経営に参加することが必要。経営者がビジョンを明確にして、その方向で全員が創造的に経営に参加すること。そんな環境創りが経営者の仕事になるようです。

「比べるのは他人ではなく、去年の自分」

社員全員が毎年成長し続けることこそが、経営革新の基礎になるだろうと思います。

そのためにはまず経営者が成長すること。すべてはそこから始まります。

鯛は頭から腐る、と言われていています。頭が腐らないように頑張り続けます……。

竹原和行

## ◆事務所スタッフからのハートの一言◆

私どもの会社では、運転日報のタイトルを『安全の記録』と印字してあります。日々の運行は全く同じ状況はありません。瞬間、瞬間刻々と運転の状況は変化し続けます。常に安全意識を高く持って確認、確認の連続です。それを完全にやり遂げてその日の運行が無事終了します。その事を『安全の記録』と言うのです。

そして、運行前にこの『安全の記録』に今日の運行は特にどこを重点的に気を付けて運転するか、又は「今日一日、安全運転するぞ」との決意を『安全の誓い』欄に記入しています。たとえば、「交差点の左右確認を確実に実施します」「スピードを控えて運転します」「車間距離を空けて急停車はしません」などです。私はこの「安全の誓い」を文章で表現することが重要と考えています。身体の色々な部分を使って安全運転を達成していきたいと思っています。

更に運行を終了しましたら、今日一日の運行を振り返り、うまく出来た点、うまく出来なかった点を「今日の一言」欄に記入し、本日の運行を検証、反省し、次回の運行に役立てるべく記入します。又、「ヒヤリ・ハット体験」欄を設け、ヒヤリ・ハット体験を記入してもらい、他乗務員がその内容を参考にし社員の安全意識のレベルアップを図っています。

この様に、運転日報をより良く安全運転に結び付ける為、活用しています。

社長 竹原正和

朝夕、日毎に涼しくなりようやく秋を感じるようになりましたが、記録的な暑さとなった今年の夏、皆様はお元気だったのでしょうか？ その暑さのせいもあってか、ジジイは高校一年頃から毎日かかさず続けていた生活習慣の一つを止めることにしました。その習慣は、たとえ1日500円いや1,000円掛かろうが死ぬまで止めないと思っていましたが、今回あっさり止めることを決意し実行に移しました。それは赤いLARK(煙草)です。歯周病を患って年中歯医者通いをしているジジイは、先日歯医者先生に『煙草を吸っていると歯周病を悪化させるだけでなく治療を行っても治りにくく、やがて総入れ歯になりますよ！』一瞬、総入れ歯になると歯医者に通わなくてもよくなると思いましたが、そこは大人の決断で煙草を止めることにしました。ジジイは頑張るぞ〜V

大橋 哲夫

次回ハート通信までや  
めてられるかな。



## 最新鋭車納入される（どんな小さな事故でも起さない）

当社に安全装置をすべて完備した、環境面にも対応した車輛が納入されました。

当社は、「安全を第一に考える」を優先にどのような小さな事故でも起さないを合言葉に努力をして参りました。しかし、いくらベテランと呼ばれる、豊富な経験を積んでいる、自信のあるドライバーでも、「人」が乗務する大型トラックです。ヒューマンエラーが発生します。

当社は、何とかこのエラーを未然に防げないかと真剣に考え取り組んで参りました。その中で最近、いろいろな安全装置が開発されて来ています。一番最新鋭の装置が装着されたシステム車を兼ねてから検討してきました。その車輛が今回納入された大型トラックです。

まず第一番目に

衝突被害軽減ブレーキ装置の取付がされています。この装置は、走行中にハット気付いた時、直前の車輛が目の前に追って来た。急にブレーキを踏んでも間に合わない。追突事故の発生です。大変です。今回取付てあるシステムは、追突3秒前にぶつかる可能性ありの警報音でドライバーに知らせます。ドライバーが何らかの操作もしないでいると2秒前に自動的に弱いブレーキがかかります。それでも回避操作をしないと1秒前に急ブレーキがかかります。障害物（車輛）から約1m以内で停止出来るという優れたものです。

第二番目に

ふらつき注意喚起装置です。ドライバーが急に進路を変えたりか乗務員の眠気で車輛がふらつき始めると車輛内の警報装置が作動して乗務員に知らせる装置です。

第三番目は

車線逸脱警報装置です。この装置は、車輛の前（バンパー）に取付けてあるカメラからミリ波のレーダーが発信されセンターラインを捕捉し、車輛が左右にふれセンターラインを逸脱しそうだと警報装置で乗務員に知らせてくれます。これでセンターラインオーバーの事故が未然に防げます。

第四番目は

後方視野確保支援装置です。乗務員には車輛を後退させる時、当然降車して後方を確認し、後退する様に指導は行っておりますが、どうしても狭い構内道路上での障害物（人・車）を発見することが遅れてしまいます。後方にカメラを取付して後方10m以内を運転席で安全を確認しながら後退が出来ます。

グリーン経営認証取得の事業所の当社では、当然なことですが地球温暖化が叫ばれている現況の中で、環境対応諸規制の強化されている地域での排ガス規制対応車でもあり、エコドライブの実施によって燃費もさらに改善されます。（エコタイヤも装着してあります）

この様にいろいろ衝突事故を防ぐ技術は進化して来ていますが、トラックは最終的にはドライバー（人間）が乗務するものです。今後我々は、進化して来る新しいシステム車の導入をさらに進め共有しながら、乗務員に対する安全教育を徹底して参りたいと思っております。

今回納入された車輛をさっそく運行して、当社の経営理念にもある「安全を第一に考える」、どんな小さな事故でも絶対起さないを合言葉としてより一層安全運行を実施して参ります。

橋本 勝



## 引越部門

今回は、当社の5部門の中の引越を担当している部門をご紹介します。

当社は、単身から大規模事務所の移転まで幅広く引越を手がけております。「安心しておまかせいただき迅速な引越を」をモットーにお客様の大切な荷物を運ぶために、お客様の立場に立ち、当社の運搬技術と情熱を駆使して、常にプロ意識を心に秘めて習熟度を高め、付加価値のある作業を実施しています。

当社は、引越のご依頼の連絡を頂くと引越部門のプロが下見にお伺いします。今回の荷物は、車輛に積みきれぬかどうか、用意するトラックの台数、スタッフは何人ぐらい必要か、当社が用意する専用ダンボールはどれだけ必要か、この判断と決断が一番に難しいところですが、正確に見極め同時に引越についての提案、アドバイスをしっかりとお客様と話し合います。

次に、お引合いを頂きある程度のプランが決まると、作業が始まる前にスタッフの責任者に指示が飛びます。家財や建物を傷つけない様に、養生作業は、完璧に出来ているかどうか、当社のスタッフは専用ダンボールに中身の内容、番号シールを貼り、個数が紛失しないよう、破損しないようチェックし、お客様に最終チェックを頂き大切に積み込みを開始します。

お客様の大切な家具を運び出す作業は、一番緊張する時であります。冷蔵庫、大型TV、乾燥機など重量のある家財道具、この作業は、ただ腕力があれば良いというものではありません。持ち上げるタイミング、切り替えしするタイミング、当社のスタッフは、力の入れどころを体で熟知しており、二人で持ち上げる時も阿吽<sup>あうん</sup>の呼吸で息をぴったりと合わせ、スムーズに搬出して行きます。

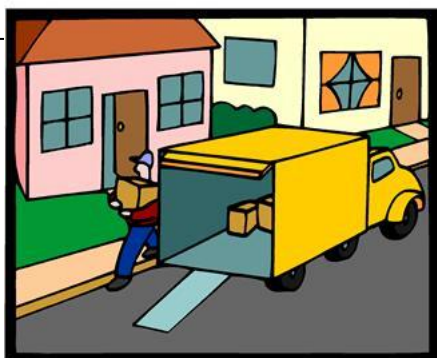
お客様は千差万別です。私達スタッフは、お客様が今何を求めているかを、梱包時の確認や家具の配置の相談など、一言二言のやり取りが積み重なって信頼につながって行くこと、細かい心配りが一層信頼を生む事、これが満足していただく引越が出来ることに繋がることだと信じております。

私達の引越の作業は、「品物の輸送」ではなく、サービス業だと思っています。それゆえにマナーが重要視されてきます。引越先に到着すると近隣への挨拶、トラックを駐車させていただき御詫びと感謝、エレベーターを使用させていただき場合は、管理人への挨拶、養生の確認と色々な配慮も欠かせません。短い時間の作業ですが、お客様の気持ちと一体となって、大切に使用されていた家財道具を運ぶこと。お客様の立場に立った作業を行うこと。スタッフは、常に当社の看板に恥じることはないよう引越のスペシャリストになろうと誓い合っております。

引越の業務は、これが正解という答えがない仕事です。毎回家財も違うし、お客様も違います。同じ引越は、2つとありません。お客様から竹原運輸に「頼んでよかった、ありがとう」と言われると又、次への意欲が湧き頑張れます。そんなスタッフの集団です。

これから引越のシーズンに入ります。引越のご用命は当社のスタッフにお任せ下さい。

斉藤 洋一



暑さ寒さも彼岸まで・・・と昔の人はよく言ったものだなあと感心します。今年の猛暑はいつまで続くのかと不安になっておりましたが、ここ2、3日の涼しさは記録温度計を疑う程です。基本的に夏が好きな私でも今年の暑さには驚きの連続でした。業務的に屋外での作業等がほとんどである乗務員には点呼時に「水分補給、休憩」と毎日のように繰り返しておりました。帰社した乗務員に冷たい麦茶を用意してありますが、6Lのやかんで1日に4回も沸かす日もありました。軽油で24Lですと10tトラックで福井から金沢くらいまで走れます。エコドライブで軽油はあまり消費させず、麦茶をたくさん飲んでこの夏を乗り越えられそうです。

身分制度があり、職業や住居、着衣までも制限され命に対しても理不尽がまかり通る時代がありました。ほんの150年ほど前のことです。

私たちの現在は自由に職業を変え、好きな場所に住むことができ、好きなブランドの服を着ることもできます。日頃の当たり前前に感謝をし、暑い夏に八つ当たりをしてはいけません。

「暑さ寒さも彼岸まで」そう言って中秋の名月を待ちわびたのでしょうか・・・  
すずきの囁きに読書とおだんご。夜長を楽しみましょう。 麦茶も。

池上則和



いつもお世話になりありがとうございます。

いつになったら夏が終わるのか、暑い日が続いています。今年もエアコンに感謝です。

私はというと、知らず知らずのうちに体力を消耗した上に、疲労を蓄積している気がするので、自分を甘やかす日々を過ごしています。

先日台風9号が来たのを境に朝晩が秋らしくなり始めた気がします。ここが体調管理に大切な季節の変わり目と思い、うがいと手洗い。また少し暑い夜も有るでしょうが寝る時には寒くない格好で風邪予防をしながら、その姿勢を子供に見せたいという一石二鳥計画を実行しています。

ほんの小さな事でも毎日続けるのは大変ですが、私が自分を大切にすれば、見返りとして『子供が自己管理を自然にこなすかも』と思って励みにしています。

辻川 伸吾

本年も9月1日より10月31日まで強化月間として全国一斉に『点検で元気いっぱい わたしの車』をスローガンにマイカー点検キャンペーンを実施しています。

整備事業所がそれぞれの立場から構造及び点検整備についての知識を広めるとともに、ユーザーとのコミュニケーションを深めるため、ユーザーの点検、整備の必要性を認識して、前回も書いた様に、タイヤの空気圧、バッテリー上がり、オイルの不足、ラジエターの水不足、ウォッシャー液の不足、ベルトの緩み、電気系統の球切れ等点検して下さい。また、ストップランプが点かないと追突されたりしますので気をつけて下さい。

事故になれば多額のお金が掛かりますので、保険に入っているから大丈夫と思わないで、自分の車は、毎日の点検を欠かさないう、経費が掛からないように自分で守る事を忘れずに日常点検を行って下さい。

竹原運輸整備工場 吉川文雄



残暑が厳しい今日この頃、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。

僕は、お盆に4日間休みをもらえたので奈良の実家に帰り、そのついでに子供が1度行って見たいと言っていた大阪のUSJに遊びに行きました。朝、開園前なのに人盛りが出来、入る前から疲れてしまいました。

入場すると最初にジョーズ、次にジェラシックパークのアトラクションから回りました。すると、朝から楽しそうにしていた子供達が、怖がってしまい次のアトラクションから警戒して、中に入ろうとしなくなりました。「又いつか行こうね」と聞くと、子供達は「もう嫌」と一言、完全に怖がってしまいました。気を取り直して、セサミストリートの3D映画を見る事にしました。飛び出してくる映像を一生懸命に触ろうともがいている子供達、1人のみならず3人同じ仕草をしているのは、愛嬌があり笑えました。子供達の笑顔が戻り良かったです。

植田 泰樹



### 「習慣」

猛暑続きだった夏も今では随分涼しくなってきました。

今年は、体調管理もなかなか難しかったです。皆さんの体調は大丈夫でしょうか？体調管理と言えば、規則正しい生活が必要となってきますが、それを継続していくのもなかなか大変なものです。日々の生活の中で継続して何かをやるというのは大変ですが、習慣にしてやるのが当たり前となれば簡単なものです。

では、どうやって習慣にするのか？いろんな方法があると思いますが、僕がやってきたのは、21日間紙に書いたり、心に思ったり、口に出したり……。とにかく21日間意識してやっていると21日過ぎる頃には自然と行動しています。「やらなくちゃいけないからやるのが当たり前！」になっていきます。是非、みなさんも試して見て下さい。

整備工場 谷口 学

皆様、お久しぶりです。今年の夏はどこもかしこも大変暑く、猛暑日が続く日々でしたね。テレビでやっていましたが、夏バテもあります。秋バテもあるそうですから気をつけて下さい。

我家では、この暑い夏に大事件です。8月の中旬に何と寝室のエアコンが壊れてしまい、毎日うだるような暑い部屋で窓を開けて寝ておりましたが、全く風もなく、朝起きると汗だくの日々が続きました。主人に修理したらと言いましたところ、リビングと子供部屋は大丈夫だから来年なると直っているかもしれないからこのままで(?)と言いながら、毎朝汗だくと愚痴っていました。9月の初めまで暑い寝室で我慢して寝ておりました。

ところがある日、リビングのエアコンの利きが悪いので説明書を読んでみると、一度電源、ブレーカーを下ろして再起動するよという項目が目につき、寝室のエアコンを試してみると、何と動くじゃないですか……。この暑い夏の我慢は何だったのでしょうか。壊れていた方がまだ良かったかな。(お金が掛からなかったから良しとすべきか)

皆様のお家では、このような事がないように……。 (我家だけでしょうか!!)  
来年また暑い夏でも耐えれそうな気がします。(暑い日々でしたが、夏バテはありませんでした)

吉川 佳代

次回お楽しみに……

今年の夏は、  
本当に暑かっ  
たわ!

